

# 第12回(平成31年度)幾何公差実践研究会

…しっかりした設計図面で、もの作りの企業競争力強化を推進する…

主催 長野県テクノ財団 諏訪テクノレイクサイド地域センター  
共催 長野県工業技術総合センター

すでに177名が受講修了！！

図面に表現される記号(情報)は、それに係るメンバー(お客様、設計、営業、生産技術、製造、品質管理等)間での意思伝達の重要な役割を果たすべく表記されています。寸法を制御するものが「寸法公差」であるのに対して、**形状(姿勢・位置・振れ)を制御するものが「幾何公差」**です。

しかしながら、正しくそれらの情報を表記・理解しないと全くの別物(不良品ともいう)が出来てしまうことがあります。

幾何公差の考え方と使い方を学び、実践能力を向上することで、高品質で低コストなものづくりに寄与するための実践研究会(全15回)を開催します

## ■参加対象者

設計 : 製品の性能を満足できる要求品質・情報を正しく伝える  
営業 : お客様の要求が正しく理解できる  
生産技術 : 設計者の意図を自社技術に置き換え製造に正しい情報を伝える  
製造 : 設計者の意図を正しく理解し加工・製造する  
品質管理 : お客様・設計者の意図を保証出来る計測・評価をする

## ■会場

長野県工業技術総合センター 精密・電子・航空技術部門 (岡谷市長地片間町1-3-1)

<http://www.gitc.pref.nagano.lg.jp/seimitsu/map.html>

本館4階 視聴覚室 及び 1階または3階 精密測定室

※玄関入口左側のロッカーでスリッパと履き替えてください

※指定駐車場 [P3またはP4です:厳守](#)

## ■定員

15名

## ■参加費

1名 30,000円(全15回)…財団口座に振込み(第1回目に請求書を渡します)

## ■講師

CDT研究所(Creative Design & Technology Laboratory) 中村哲夫氏  
長野県工業技術総合センター 測定部 田中主任研究員、池田研究員

## ■テキスト

随時配信します。カラーコピー・非縮小を推奨します(両面OK)。ご持参下さい

## ■申込締切り

5月13(月) 定員になり次第締め切ります

## ■申込方法

諏訪地域センターHP <http://www.tech.or.jp/suwa/seminar/31/>

「セミナー・イベント」の「受付中」⇒「申込みフォーム」でお申込みください。

メールで申込む場合は「名刺情報」ご記入の上、[ma-takeuchi@tech.or.jp](mailto:ma-takeuchi@tech.or.jp) 竹内へ

※本研究会に関する開催連絡等各種連絡は、メールで行います

※本申込書にご記入いただいた個人情報は、募集イベントの登録情報として利用するほか、(公財)長野県テクノ財団 諏訪テクノレイクサイド地域センターから の各種イベントのご案内の送付に用いるもので、他の用途へは一切使用しません。

# H31年度 幾何公差スケジュール

【全 15 回 開催時間:13:30 ~ 16:30】

開催日	テーマ	内 容
第1回 5月21日(火)	幾何公差方式に関連する基本事項	* 幾何公差方式のイメージ * 寸法と寸法公差
第2回 5月28日(火)		* 機械部品の形体 * 幾何公差の必要性 * 幾何偏差と幾何公差 * 幾何公差域の指示方法 * データム系の基本
第3回 6月10日(月)		* データム系の構築 * 幾何公差・データム系の図示方法
第4回 6月17日(月)	形状公差	* 真直度公差、平面度公差の図示とその解釈 * 真円度公差、円筒度公差の図示とその解釈
第5回 6月25日(火)	姿勢公差	* 平行度公差、直角度公差の図示とその解釈 * 直角度公差、傾斜度公差の図示とその解釈
第6回 7月1日(月)	位置公差	* 位置度公差の図示とその解釈 * 同軸度・同心度公差、対称度公差の図示とその解釈
第7回 7月9日(火)	輪郭度公差	* 線と面の輪郭度公差の図示とその解釈
第8回 7月22日(月)	幾何公差に関する基本原則	* テーラーの原理(Taylor`s principle)、独立の原則 * 寸法公差と幾何公差の相互依存 * 最大・最小実体公差方式の図面指示と解釈
第9回 7月30日(火)	主な幾何偏差の測定実習  幾何偏差(真直度、真円度、直角度、振れ)の現場的測定法と留意点	グループ毎の実践研究 (1)水準器による真直度測定 (2)定盤・直角定規を基準にした直角度測定 (3)三点法真円度測定、半径法による真円度・円筒度測定 半径方向の円周振れ・全振れ測定 (4)円筒軸線の真直度測定 (5)三次元測定機における測定方法と幾何偏差の測定
第10回 8月6日(火)		
第11回 8月20日(火)		
第12回 8月27日(火)		三次元測定機による幾何偏差の測定法  ※関数計算機能のある電卓を持参下さい。 ※測定室での作業です。防寒対策をして下さい。
第13回 9月17日(火)	幾何公差方式の実践事例研究  (企業事例研究 & 課題研究)  まとめ	グループ討議 * 現場で実際に使われている図面を用い、設計者の意図、加工者・測定者の解釈、加工・品質保証の可否等、図面指示に起因する諸問題を検討することで、幾何公差の実践的な力をつけます。
第14回 9月24日(火)		
第15回 10月1日(火)		※各社様から提供いただいた図面を使います * 全体を通してのポイント、注意点等のまとめ

※開催日程・内容が変更になる場合もあります